

# 埼玉アートシアター通信

S A I T A M A A R T S T H E A T E R P R E S S

2013.7-8

NO. 46

さいたまゴールド・シアター  
パリ公演特集

『ムサシ』ロンドン・NYバージョン  
溝端淳平

dancetoday 2013 ダブルビル  
関かおり

マレイ・ペライア  
ピアノ・リサイタル



彩の国シェイクスピア・シリーズ 第28弾

## ヴェニス商人

2013.7-8  
NO. **46**

- 03 **REPORT** さいたまゴールド・シアター パリ公演特集  
『鴉よ、おれたちは弾丸をこめる』
- 08 **PLAY** 彩の国シェイクスピア・シリーズ第28弾 『ヴェニスの商人』  
市川猿之助・中村倫也・横田栄司・高橋克実
- 11 **DANCE** 【ザ・ファクトリー-3】  
さいたまゴールド・シアター×瀬山亜津咲(ピナ・パウシュ ヴツパター舞踊団)  
ワーク・イン・プロGRESS公開
- 12 **PLAY** 『ムサシ』ロンドン・NYバージョン 溝端淳平インタビュー
- 14 **FAMILY** 光の庭プロムナード・コンサート 夏休みスペシャル!  
広沢麻美(オルガン)×近藤良平(ダンス)  
埼玉会館&熊谷会館ファミリー・クラシック 『夏休みオーケストラランド!』  
『ピノキオ~または白雪姫の悲劇~』 宮本亜門インタビュー
- 16 **DANCE** dancetoday2013ダブルビル 関かおり
- 18 **MUSIC** NHK交響楽団 秋山和慶(指揮) 伊藤 恵(ピアノ)
- 20 **MUSIC** マレイ・ペライア ピアノ・リサイタル
- 22 **COLUMN** アーティストの原点11 高橋克実
- 23 **REVIEW** 2013.5-6 彩の国のアーツ
- 24 イベント・カレンダー／チケットインフォメーション  
彩の国シネマスタジオ
- 27 THEATER BRIDGE



COVER  
彩の国シェイクスピア・シリーズ第28弾  
『ヴェニスの商人』  
Photo ©設楽光徳

SAITAMA ARTS THEATER PRESS 2013.7-8 No.46  
編集◎市川安紀 [アルカディア社]、結城美穂子 デザイン◎中野一弘、鶴田大志 [bueno]

©公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団  
Published on 15 July 2013 All Rights Reserved by Saitama Arts Foundation  
※掲載情報は、2013年6月25日現在のものです。公演は追加および一部変更される場合がありますので、ご了承ください。



# パリ 鴉よ、おれたちは弾丸をこめる

さいたまゴールド・シアター

## 公演レポート!

おれたちは弾丸をこめる

Théâtre  
**CORBEAUX!  
NOS FUSILS  
SONT CHARGÉS!**

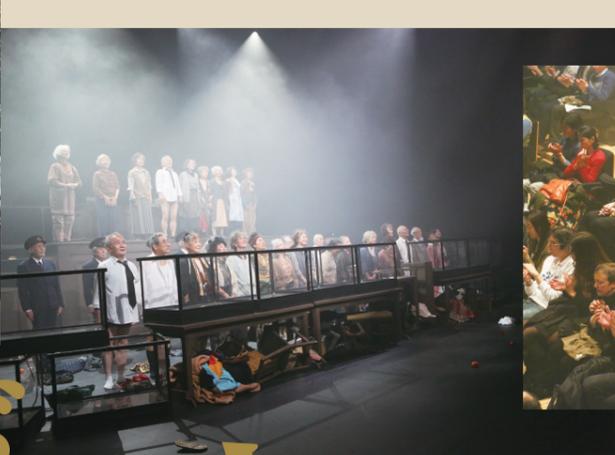
Mise en scène Yukio Ninagawa

30 et 31 mai 2013 à 20 h  
1<sup>er</sup> juin à 15 h et 20 h

Photo ©宮川舞子 (P.07 下除く)

Barrière de la culture du Japon à Paris

パリ公演のチラシ



# ゴールの弾丸、パリを撃ち抜く

取材・文◎徳永京子 (演劇ジャーナリスト)

「とにかく暖かい服装を用意して来ててください」というメールが、一足早く現地入りしたスタッフから2度も届いた。例年ならTシャツ1枚で過ごせるという5月のパリが、今年は異常気象で連日の冷たい雨とのこと。ゴールのメンバーが乗った飛行機がシャルル・ド・ゴール空港に着陸する直前、アナウンスされた天候もやはり雨だった。ところが一行が荷物を受け取って空港を出る頃には雨は止み、そのまま直行した公演会場のパリ日本文化会館に到着した時には、現地の人々が「こんな空は久しぶり」と驚いた、気持ちのいい青空が広がった。

技術スタッフと共に先に準備を進めていた蛭川幸雄、演出補の井上尊晶が、会館の一室でメンバーを出迎えた。「みんな(長いフライトだったにも関わらず)元気そうだね」という蛭川に、銘々の口からバラバラの答えが返される。いつも通り、マイペースが37人集まった賑やかな反応に、ついここがパリだと忘れそうになるが、同じ建物の地下にあるホールには『鴉よ、おれたちは弾丸をこめる』のセットが組まれつつあり、「さいたまゴールド・シアターパリ公演」という大きなプロジェクトはカウントダウンに入っている。ホー

ムグラウンドの彩の国さいたま芸術劇場以外で公演したのは2009年のフェスティバル/トーキョーのみというゴールドが、パリで3日間4回の公演を行う。しかも、ネクスト・シアターも含めると出演者だけで総勢60名近い大所帯の作品で海を渡る。何よりもゴールのメンバーの平均年齢が74歳——。すべてが破格の企画が、いよいよ現実になるようとしているのだ。

## 作品に込められたテーマは届くのか

だがもちろん、公演することが目的ではない。日本の高齢者が舞台の上で頑張っている姿をフランスの人に見せて「頑張りました」「頑張ったね」で終わっては何の意味もない。60年代から70年代にかけての日本の学生運動が残したものの、残せなかったものをフィルターに、革命、集団、社会と個人、歴史と女性といった問題をどれだけビビッドに伝えることが

できるのか。それこそがこの大掛かりな企画の問いであり、目的であり、それができた時にゴールの意義が証明される。

1日の稽古を挟んだ5月30日(木)。心配された、時差ボケや長時間フライトで体調を崩す人はなく、順調に初日の準備が進められた。『鴉よ〜』は裁判所が舞台で、手前に被告席、正面奥に、両脇に階段を備えた高さのある法壇、その左右に検察官、弁護士の席と、ほぼ忠実に法廷を再現した舞台セットだが、そのほとんどをパリ日本文化会館の美術スタッフが日本から送られた図面を見て作成したとのこと。オープニングの幻想的なシーンをつくる、40近いアクリルの大型水槽も現地スタッフの手によるという。入念に調整された照明共々、その再現性は素晴らしい。蛭川も「雑事がない分、日本よりも集中できていいよ」とリラックスの表情。海外公演では現地の会場や機材、電圧の状況で、照明や音響のプランを変更せざるを得なかったり、運搬のトラブルでセットが届かないことも珍しくないの

で、この理想的な状況も蛭川の気持ちも柔らかくしているのだろう。とは言え、本番前の通し稽古の出来が良くなく、メンバーに機を飛ばしたそうで、いくら埼玉で5公演を終え、好評を博してはいても、予断を許さない状況だ。

そして午後8時、遂にパリ公演初日の幕が開いた。約200の座席は満杯。客層は、フランス人7割、日本人3割程度。男女比はほぼ半々。フランス人は30代から60代、日本人はもう少し年齢層が若い。パリ日本文化会館の演劇公演に足を運ぶ人達なので、基本的に日本文化に興味があるだろうが、果たして『鴉よ〜』の作品性は伝わるのか、緊張の時間がスタートした。

## 公演数が少な過ぎると怒られた

上演が終わって照明が落ちると、拍手が湧き上がる。その温度は熱い。照明がついて客席を見渡すと、拍手する手を頭

上に上げて満足や興奮をアピールする人も多い。カーテンコールは何と3回。最後はほとんど手拍子のように、明るい空気がキャストを舞台に呼び戻した。笑顔でそれに応えるゴールドとネクストのメンバー。実際、舞台上の集中力は素晴らしかった。ここがどこで、目の前にいるのが誰か、そんなことよりも純粋に作品に生きる俳優がいるだけだった。上演中、特に反応が強かったのは終盤近く、裁判所を占拠しながらも警察の銃弾に倒れた老婆達が、若者に生まれ変わるシーン。一瞬の鮮やかな入れ替わりに、声なきどよめきが客席に広がった。客電がつくと、席を立ちながら目元を拭う人、紅潮した笑顔で同行者と話す人と、反応は想像以上だった。

初日乾杯で蛭川は「こんなに晴れやかな気持ちで終えた初日は久しぶり」と満面の笑顔で挨拶した。その後のマスコミの囲み取材にも「この人達はずっと行ける、もっと過激になっていいね」と語った。メンバーにも話を聞いたが、小淵光世さん、徳納敬子さんら何人もの口から「この作品が言葉を超えて伝わった気がする」という

手応えを聞いた。百元夏繪さんは「パリに来る前にみんなが不安に思っていたことを、みんなで乗り越えられた。ゴールドがひとつになれた気がする」と。街の温度は低くても、ゴールドとその周辺は熱い空気が渦巻いていた。

2日目はパリ日本文化会館の副島綾さんの司会により、終演後にメンバーの重本恵津子さんと遠山陽一さん、そして筆者でアフタートークを行った。多くの人が残ってくれ、関心の高さが伺えた。最終日となる3日目は2ステージで、全4ステージすべて大盛況となったが、その間も、異例とも言える反響が続いていた。評価は高くても、掲載時に終わっている公演は記事にしないのが通常なのに、大手のフィガロ紙がウェブ版で大々的に『鴉よ〜』を採り上げ、現地ジャーナリストが何人も蛭川にインタビューした。

「記者から“これは革命に失敗した人達の話ですね”と感想を言われた。(客席で感じた空気だけでなく)本当に伝わっていたんだよ。でも“公演数が少な過ぎる。紹介してもみんな見られないじゃないか”と怒られたけど(笑)」

前例のない高齢者集団の大きな挑戦は、予想以上の収穫を得、さらに輝かしい未来をつかむ勢いだ。



2日目のアフタートーク 左より副島綾氏(パリ日本文化会館)、徳永京子氏、重本恵津子、遠山陽一



さいたまゴールド・シアター

『鴉よ、おれたちは弾丸をこめる』

# パリ公演 劇評集

短い公演期間にもかかわらず、現地では大手フィガロ紙（電子版）をはじめ、即座にいくつかの劇評が掲載された。蜷川とメンバーたちの挑戦は、「フランスではまれな、規格外れの演劇」とも評されるほど熱気をもって迎えられたようだ。

（邦訳：藤井慎太郎／一部抜粋）

2013年5月31日

## Le Figaro

（ル・フィガロ紙 電子版） ポーリーヌ・ラバディ

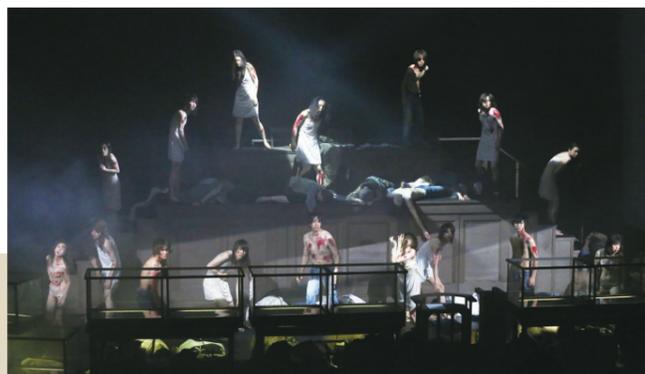
<http://www.lefigaro.fr/theatre/2013/05/31/03003-20130531ARTFIG00553-yukio-ninagawa-et-les-corps-hantés-du-japon.php>

## 蜷川幸雄と日本に憑かれた身体

Yukio Ninagawa et les corps hantés du Japon

清水邦夫のテキストの思索に満ちた美しさは、蜷川幸雄の演出の豊穡さによってこそ、最大限に生かされえたのだといえよう。社会闘争、抑圧、幻滅した若者たちの政治的要求、腐敗、男性支配。たくさんの主題が、役者集団の表現性を通じて立ち現れてくる。重々しい場面と、何のためらいもないドタバタ劇が交互に現れ、おばあちゃんたちは、秩序を代表する名誉ある人々のズボンを脱がせ、自分の尻をまくって見せ、正気とは思えない言葉を叫ぶのである。

舞台に出ている人数がつねに37人となるようにするという、観客には見えない制約のもと、出演者たちは有無を言わせぬエネルギーを発揮する。これだけの大人数でいながら、俳優たちは、自分の居場所、役割、リズムを見出している。俳優の演技の演出は、それゆえにこそもっとすばらしいものとなる。（略）



55才以上の俳優たちによって演じられた『鴉よ、おれたちは弾丸をこめる』は、悲喜劇的なドタバタ劇を装いながらも、戦後日本社会について思索する大作である。

「あたしたち、人間の恥で黒く染まった鴉なんだよ」（清水邦夫）

この宣言に対する応答として、作品の終わりにかけて、スローモーションで構成された場面を通じて、俳優たちはリンチを模倣してみせる。作品の過剰なリズムが戻ってくる前の、時が止まったかのような演劇の絵画性はすばらしい。スローな身体の動きとエネルギーが、感情のこもった息づかいのうちに呼応し合うのだ。

作品の最後に、さいたまネクスト・シアターの19人の若い役者が不意に現れて舞台に加わるが、これは俳優のこれだけの力業を締めくくるのにふさわしいすばらしいものである。つまり、過去の傷がいかなるものであろうと、異なる世代が同じ芸術としての表現によって、ひとつに結ばれるのだ。

2013年6月3日

## Un Fauteuil pour L'Ochestre

（オーケストラ（席）のための椅子）ダシエル・ドネロ

## fff（何があっても絶対に観ること）

もう一つの可能世界というカタルシス

蜷川は、もう長いこと炎が消えて久しいルサンチマンが引き裂かれるさまを見せてくれる。そこでは、世界の諸社会の欺瞞の歴史のうちに、失語症の断片が、反乱の叫びの文字を構成するのだ。というも、自分の思いを表現するすべを持たない者たちの悲劇が織りなされるのは、まったく日本には限られないことだからだ。

（略）私たちは、自分が目にするものによって仰天する。イメージの力によって言葉を失う。血まみれたマイム的なシーンで、司法の黒い鴉たちがリンチにかけられるのを目にして、恐怖を感じるのと同時に魅了される。この場面は、黒澤明の『蜘蛛巣城』で、マクベス夫人が血に汚れた手を洗う、無言の場面を思わせる。これらの復讐に燃える、年老いたバッコ

<http://unfauteuilpourlorchestre.com/critique-%E2%80%A2-corbeaux-nos-fusils-sont-chargés-a-la-maison-de-la-culture-du-japon/>

『鴉よ、おれたちは弾丸をこめる』は、清水邦夫によって1971年に書かれた戯曲であり、その当時の異議申し立ての闘争の暴力性を物語っている。

スの信女が、希望の炎をつなぐ若者に変化する場面において、作品は頂点に達する。これは、人を当惑させるハプニングであり、もう一つの可能世界から視覚と聴覚とがやってくるかのようなカタルシスである。私たちは感動に身が震える。何かが私たちを変えてしまったのだ。もはや老いることを恐れることはないだろう。私たちの前にいる、いくつもの時代を生きてきた人間たちの才能は、永遠というものの破片を見せてくれるのだ。彼らも感動しているが、私たちがだ。涙が私たちの孤独と孤独とを結びつける。彼らの涙はどこからやってくるのか。蜷川幸雄はその答えを知っている。果てしない世界を前に、演劇はほんの小さな力しかないという認識からである。蜷川氏よ、あなたは正しい。だが、あなたは、光に満ちた音楽を新たな地平に向けて奏でる小さな笛の音色を、私たちに聞かせてくれたのだ。



2013年6月1日

## Théâtre du blog

（ブログの演劇）フィリップ・デュ・ヴィニヤル

<http://theatredublog.unblog.fr/2013/06/01/corbeaux-nos-fusils-sont-chargés/>

## 『鴉よ、おれたちは弾丸をこめる』清水邦夫・作 蜷川幸雄・演出

もし今日、1時間15分、空いている時間があつたら、大至急、パリ日本文化会館に走って、この1971年初演の神話的作品、当時36才だった、日本人演出家のなかでも最も特筆すべき演出家のひとりによって演出されたこの作品を見ることをお勧めする。（略）

頭がくらくらするような話であると同時に、まったくもって明晰でもあり、リアリズム的な要素も備えている。おそらくそのことが、この作品の大きな力となっているのだ。この作品は、偉大なカントールの『死の教室』を時々思わせる。カントールもまた、強い個性を持った男たちと女たちとを意識して起用していたが、その中にはやはり、詩人であったり、作家であったり、画家であったり、あまり若くもなく、演劇界とも縁のないような人物も含まれていた。

偉大な蜷川の演出において、機知のきいたテキスト、正確な俳優の演技の指

示、個人そして集団としての演技、セノグラフィ、視覚的構成、照明、音響効果、一般的なリズムなど、すべてがここでは強く印象に残るものであり、真実と繊細さを備え、賞賛を強いるのだ。批評家の姿はわずかであったが、そこに居合わせた同志はみな、フランスではまれにしか見ることのできない、規格外れの演劇の行為に釘付けになっていた。（略）

でも注意してほしい。日本からやってきたこの劇団は4回しか公演せずに、日曜日には日本に帰国してしまうのだ！ そう、本当だ！ そして、残念なことには戻っては来ない。

これは、偉大な演出家によってつくられた、模範的なクオリティの作品である。世界中で上演を重ねているこの演出家がこの前にフランスにやってきたのは、すでに2002年の『夏の夜の夢』のことだったのである……。

## 今回の海外公演 & 国内ツアー DATA



さいたまゴールド・シアター第6回公演  
『鴉よ、おれたちは弾丸をこめる』

- 5月16日～19日  
彩の国さいたま芸術劇場 大稽古場／全5公演
- 5月30日～6月1日  
パリ日本文化会館 大ホール／全4公演
- 6月15日～16日  
KAAT 神奈川芸術劇場 大スタジオ／全2公演
- 6月22日～23日  
大里生涯学習センターあすなつと ホール／全2公演



蜷川と団員4名が知事の元へ帰国の報告（6月9日／知事公館にて）



ツアー最後の公演地、埼玉県熊谷市。蜷川作品が熊谷で上演されるのは初めてということもあり、大勢の観客が集まり、約340席の客席は2日間ともすべて満席となった。



# 市川猿之助

Shylock 宝探しをする喜び  
厳しい「蜷川学校」で

彩の国シェイクスピア・シリーズ第28弾

## 『ヴェニスの商人』

全ての役を男優が演じる「オールメール・シリーズ」の最新作『ヴェニスの商人』。2010年、同じくオールメールによる『じゃじゃ馬馴らし』でヒロインを演じて客席を沸かせた市川猿之助（当時は亀治郎）が、今度はユダヤ人の金貸しシャイロックに扮するとはまた見逃せない。本格的な稽古を前にして、キャストそれぞれの胸の内とは？

取材・文◎市川安紀

### 自在な歌舞伎の演技術

—「じゃじゃ馬馴らし」では「芝居を観る楽しみ」とことん堪能させていただきました。ご自身はどんな体験でしたか。

生まれて初めて洋装の女形を経験させていただきました。実はシェイクスピアはあまり得意ではなくて、どちらかというと敬遠していたんですが、純粋に楽しい芝居を作ることに集中しましたね。算（利夫）さん、（山本）裕典をはじめ、素敵な共演者と出会えたことも大きな喜びでした。

—蜷川演出からはどんな刺激を？

蜷川先生の演出は、学校でいえば大学院のようなものです。基礎学力がなければ容赦なく落第（笑）。すべては自己責任というか、自分の実力次第。こちら側に学ぼうと言う姿勢があれば、いくらでも宝物が転がっていると思います。ということは、非常に厳しいとも言えますね。蜷川先生が常に「さあ、君は何を見せてくれる？」とわれわれ俳優に問いかけているように感じます。

—歌舞伎俳優がシェイクスピアを演じることの強みはどこにあると思いますか。

歌舞伎は古典歌舞伎からスーパー歌舞伎に至るまで、非常に幅広いジャンルを備えています。これは先人たちによって伝えられてきた歌舞伎の演技術に、幅があるということだと思うんです。歌舞伎の技術を「原液」とすると、割合を変えることで、それが新劇の演技になったり、時代劇の演技になったりするのではないかな、と。歌舞伎の特徴は何と言っても、台詞を謳い上げたり、舞踊を基礎とした

身体にあると思っています。つまりは音楽性です。『ヴェニスの商人』は二世市川左團次が日本の新劇の第一歩を飾った作品なので、歌舞伎役者によって演じられた意義は大きいと思います。

### 「尽きぬ欲望」が源泉

—以前、猿之助さんは蜷川さんとの対談で「『ヴェニス〜』を歌舞伎の手法で上演したい」と仰っていましたね。

歌舞伎には独特の演出法がたくさんあります。蜷川先生はそれらにも通じていらっしゃるの、今回は長年の夢の実現ということになりますね。ある意味、歌舞伎俳優が演じれば、それはすべて歌舞伎になると思っています。

—稽古はまだ先ですが、シャイロック役に対するイメージはありますか。

稽古場での皆さんとの触れ合いから役は生まれると思っているので、今はまだ何も考えていません。というか、現在（猿之助）襲名披露公演の真っ最中で、考える時間がないです（笑）。ただ、今回も、蜷川先生の掌の上で自由奔放に芝居をさせていただける幸せを感じています。

—襲名を機に歌舞伎に専念されるのかと思いきや、活躍の場がさらに広がっていますね。多方面に挑戦する原動力は？

ズバリ好奇心です。たった一度の人生を豊かにしたいという、尽きぬ欲望です（笑）。

—夏には歌舞伎の東日本巡業で被災地も廻られます。今の時代に芝居を上演することの意味についてどのように思われますか。

お客様に感動を差し上げるとか、生きる力になればとか、高邁な理想はいくらでも言えると思います。でも根本は、われわれ俳優は、それで「食っている」ということです。なぜ芝居をするのか。それはその職業を活計の道としているから。ここを忘れてはいけないと思っています。

いちかわ・えんのすけ 歌舞伎俳優。立役から女形まで幅広くこなし、現代劇や映像でも活躍。2012年、二代目市川亀治郎から四代目市川猿之助を襲名。蜷川幸雄演出作品は『NINAGAWA 十二夜』『じゃじゃ馬馴らし』に続く出演となる。

### Story

ヴェニスの貿易商アントーニオは、たまたま手元に現金がなく、忌み嫌うユダヤ人の高利貸しシャイロックから金を借りる。富豪令嬢ポーシャに求婚する親友パサーニオに用立てるためだ。ところがアントーニオの商船が難破したとの報せが入り、シャイロックは借金のかたに「アントーニオの肉1ポンド」を執拗に要求するのだが――。

### 『ヴェニスの商人』人物相関図



—初蜷川演出、初シェイクスピアとか。

まさか蜷川さんにご縁ができるとは思いませんでした。50歳を過ぎてから子どもが生まれたり、連ドラで主役をやらせてもらったり、生きているといろんなことがありますね。今回のポスターの写真撮影で猿之助さんが「2人で先生に怒られましようね」と言ってくれたんですが、たぶん怒られるのは自分だけだろうなと（笑）。蜷川さんはあの年齢にして信じられない気力、体力をお持ちだと思うので、怒鳴られながらエネルギーをいただきたいです。後はシェイクスピアなので口を大きく開けて喋り、相手の台詞もきちんと聞くように。

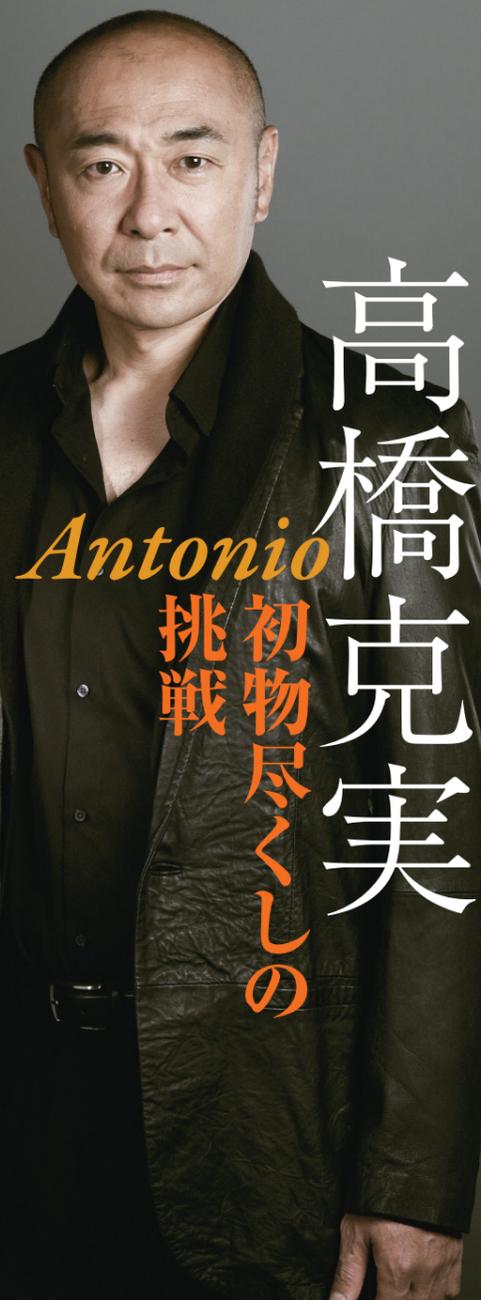
—蜷川さんも『ヴェニス』は初演出です。

そうなんですか？ それを聞いてちょっと気が楽になりました。自分がもっと若かったら逃げてたかもしれない（笑）。

—『ヴェニスの商人』という作品やアントーニオ役について思うところは？

昔、英語の教科書で抜粋を読んだ時には「肉を切られる人は可哀想だな」と思いましたけど、台本を読み直すとそうでもないのかなと（笑）。現金が手元にないのに金を貸すのはまさに“バブル”的だし、アントーニオには傲慢さもあるかもしれません。でも若い人たちの恋愛話もあって、改めて「こんな話だったのか！」という発見がたくさんありました。変装という発想も芝居らしくて面白いですね。ただ、シャイロックはなぜあそこまで酷い目に遭うのか？という疑問も湧きます。稽古で蜷川さんや皆さんの話も聞きながら、自分なりに解釈を見つけられればと思っています。

たかはし・かつみ 映像、舞台で幅広く活躍。最近の舞台に、『叔母との旅』『シレンとラギ』など。TVドラマではTBS『確証 警視庁捜査3課』に主演。



# 高橋克実

Antonio 初物尽くしの挑戦

## 中村倫也

Portia  
今度は  
乗りこなしたい

なかむら・ともや 舞台、映像で活躍する若手実力派俳優。最近の舞台に「ロッキーマホーショー」「RENT」「八犬伝」など。蜷川作品は「恋の骨折り損」「さらば、わが愛 霸王別姫」に出演。

—今回と同じオールメールシリーズの『恋の骨折り損』(07年) キャサリン役で蜷川作品初出演でした。当時を振り返ると？

20歳で人生2回目の舞台、シェイクスピア、そして蜷川さん。何もわからず、ただただ必死で空回りして、周りの方々にご迷惑をかけていたと思います。今の自分が当時の自分と共演したら、たぶん怒っちゃうと思います。

—シェイクスピアの面白さは実感しましたか。

今だから話せますが、本当に何もできませんでした。台詞が入りづらく、長々と何を話しているのか意味もわからなくて。もちろん、今は違います。乗りこなしたいです。乗りこなします。

—ポーシャは男装もするヒロイン役。男性が演じるにあたり心がけたいポイントは？

今のところ、「可愛い女性」だとは思っていません。もちろん女性的な愛嬌にあふれた人物ですが、もっと人間的な、男性だからこそできる女性役にできたら、と……。まだうまく言葉にできませんが、何かと「壊して」いけたら面白いと感じています。

—久々の蜷川演出に臨む心境を。

この5年間、「蜷川さんに刺激を与える役者になること」が目標のひとつでした。そしてまた、新しい目標の生まれる作品になると思います。なんていうか、こう、ニヤニヤしちゃう感じです(笑)。いろいろな意味で、しっかり準備して臨みます。

## 公演概要

彩の国シェイクスピア・シリーズ 第28弾  
『ヴェニスの商人』

日時：9月5日(木)～22日(日)

9月	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月祝	火	水	木	金	土	日
13:00	★	★	★	★	休演	★	★	★	★	★	★	休演	◎	★	★	★	★	
18:30	★					★				★			休演	◎			★	

◎：映像収録のため場内にカメラを設置します。

—『ヴェニスの商人』は過去に出演経験がございましたか。

今回で3回目です。論争劇の面白さ、ユダヤ人とキリスト教徒の論理のぶつかり合い。一方でポーシャに求婚するバサーニオの「箱選び」のような楽しいロマンスの部分もありますし、エンタテインメント色が強い作品だと思います。人種問題を日本人がどう乗り越えるかというハードルも含めて挑戦しがいがあります。

—発端はアントーニオにお金を借りさせたバサーニオでは。

恋のことで頭が一杯で、アントーニオを窮地に追い込んだという自覚もないでしょうね。金と時間はあるけどやることがない、満たされないイタリアの金持ちのイメージです。まっすぐで楽しい男だと思います。

—『じゃじゃ馬馴らし』で猿之助さんと共演された感想は？

稽古場で側転しながら妹役を蹴りに行くのを見た時に、完全に心をわし掴みにされました(笑)。舞台上で毎日後ろから猿之助さんを見られたのは貴重な経験でしたね。大ファンになりました。今回は敵対する役なので心を鬼にして見蕩れないようにしないと。きつとすごいシャイロックだと思うので、高橋克実さんと力を合わせて猿之助シャイロックというモンスターをなぎ倒さなければ(笑)。蜷川さんのカンパニーでシェイクスピアをやれることが嬉しいですし、気合いが入っています。とても楽しみです。



よこた・えいじ 文学座や外部舞台で活躍。蜷川作品には欠かせない存在で、彩の国シェイクスピア・シリーズにも多数出演。オールメールでは『じゃじゃ馬馴らし』『トロイラスとクレシダ』など。

会場：彩の国さいたま芸術劇場 大ホール  
演出：蜷川幸雄  
原作：W.シェイクスピア  
翻訳：松岡和子  
出演：市川猿之助、中村倫也、横田栄司、大野拓朗、間宮啓行、石井愼一、高橋克実 ほか

チケット(税込)好評発売中

一般：S席 9,000円/A席 7,000円/B席 5,000円(学生2,000円)  
メンバーズ：S席 8,100円/A席 6,300円/B席 4,500円

【さいたまアーツ・シアターライブ!!】全公演、開場20分前から開催

瀬山亜津咲(右)  
昨年のワークショップより(Photo ©宮川舞子)



## 【ザ・ファクトリー 3】 さいたまゴールド・シアター × 瀬山亜津咲(ピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団) 言葉を超えた新たな身体表現に ゴールドが挑む!

初の海外公演&国内ツアーを終えたばかりのさいたまゴールド・シアター。もっと上手になりたい、もっと色々なことに挑戦し続けたい、という欲望を常に抱き続ける「肉食系」高齢者の彼らの歩みは、年を追うごとに加速している。今夏、彼らが挑戦するのは、なんと「ダンス」だ。発端は昨年の7月。ピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団の日本人ダンサー瀬山亜津咲を講師に迎え、ダンスのワークショップを行った。そこで出会ったのは、「タンツテアター」(英語ではダンスシアター)という身体表現。これは舞踊界の偉大な振付家ピナ・バウシュの作品に代表される、ダンスと演劇を融合させた手法のこと。ダンスの技巧に目を向けるのではなく、舞台上で日常を再現する「演劇」のように、身振りや個人の体験を作品に取り入れ、個々の中にある様々な感情をしぐさや表情、動きで表現していく。

昨年のワークショップについて瀬山は

「短い時間でしたが、ゴールドの皆さんと一緒に創り上げていく作業はとても楽しく、素晴らしい経験でした。とてもオープンで、何事にも真剣に取り組む姿勢には本当に感動しました」と振り返る。ワークショップでは、男性には「男らしさ」、女性には「絶望から希望へ」というテーマを与え、ゴールドのメンバー自らが考えた動きを瀬山が構成した。ワークショップ最終日に行われた内部向け発表会では、瀬山の振付・構成による男女混合のダンスも発表され、指先まで神経を行き届かせた優雅な姿は蜷川幸雄をも感動させた。

## 創作途上を公開

今回の公演は、昨年スタートした新シリーズ「ザ・ファクトリー」(既存のホールにとらわれず、自由な発想で劇場の中に新しい表現の場を見だし、作品を発表する試み)の第3弾として、創作段階の

作品を試験的に上演するワーク・イン・プログレス形式で公開される。

「作り方は昨年同様になると思いますが、今回はさらに掘り下げて、ゴールドひとりひとりの事を知り、一緒に共有していけたら」と語る瀬山。6月1日には、ゴールドのバリ公演にも足を運んだ。「人生の大先輩である皆さんの演技の素晴らしさ、舞台上でのプロ意識やそこにかかるエキサイトメントを体で感じている姿を拝見して、同じ舞台に立つ人間としてただただ共感し、感動しました。また皆さんと一緒に同じ時間を過ごすことは、私にとってこの上ない人生の学びになると思います」と、ゴールドとの再会を楽しみにしている様子だ。「皆さんの内側にあるものを動きにしたものをダンスだと思っている」という瀬山の言葉どおり、その身体から滲み出る彼らの魅力を、また角度を変えて見ることのできる貴重な公演となるに違いない。

## 公演概要

## 【ザ・ファクトリー 3】 さいたまゴールド・シアター×瀬山亜津咲(ピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団) ワーク・イン・プログレス 公開

日時：8月14日(水) 開演18:30、  
15日(木) 開演14:00、16日(金) 開演14:00  
会場：彩の国さいたま芸術劇場 大練習室  
演出・振付：瀬山亜津咲(ピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団)

出演：さいたまゴールド・シアター  
チケット(税込)  
全席自由 一般・メンバーズ：1,500円  
発売日：一般7月28日(日) メンバーズ：7月27日(土)



『ムサシ』ロンドン・NYバージョン

# 溝端淳平

## インタビュー

### “藤原ムサシ”と対峙して 自分なりの小次郎像を

2009年の初演以来、海外（ロンドン、NY）公演も含めて再演を重ねる『ムサシ』。剣豪・宮本武蔵と佐々木小次郎の巖流島の決闘“以後”を描き、復讐の連鎖を断ち切るという作者・井上ひさしの深い思いも込められた傑作だ。3演目となる今回、小次郎役には映像でも進境著しい若手人気俳優・溝端淳平が新たに挑む。

取材・文◎市川安紀 Photo◎青柳 聡

——初めての蜷川演出に挑戦ですね。

本当に夢でした。友達が蜷川さんの舞台に出ると聞くと、大変だろうとは思いつつも羨ましかったですね。同じ事務所の山本裕典君も蜷川さんの舞台（『じゃじゃ馬馴らし』『トロイラスとクレシダ』）を経験してから迫力が増したというか、すごく舞台が好きになったという感じがするんです。自分もいよいよか、と。

——稽古場も見学しましたか。

本番を観に行くことが多かったんですが、友人の松坂桃李君が出た舞台（『ヘンリー四世』）の稽古は覗かせてもらいました。稽古場全体に緊張感があるのは当然ですけど、固唾をのみながら居るような張り詰めた雰囲気かと思っていたら、フレンドリーな温かさもあって居心地がよかったです。

——稽古中の蜷川さんの印象は？

ダメ出しはすごくハッキリおっしゃってましたが、人によって変えてらっしゃるんだろうなと思いました。自分で考えるほうがいい人にはあえて言わず、逆に追い詰めたほうがいい人にはとことんダメ出しされる。ひとりひとりに合った演

出方法をされているんじゃないかな、と。

——ご自身の予測はいかがですか。

いやあ、こればかりは稽古に入ってみないとわからないですね。今回、蜷川組の常連のすごい方ばかりですし、すでに完成されたところに1人で入る状態なので、きっと自分のところで何回も何回も稽古することになるのでは……という不安はあります。でも考えすぎても仕方がないので、丸腰で叩かれる覚悟で行くかな、と。ただ僕、へび年なので、しつこく巻き付くというか（笑）、そう簡単にはめげないタイプなんです。何とか蜷川さんに食らいついていきたいと思っています。

ライバルは憧れの人

——『ムサシ』をご覧になったことは？

小栗旬さんが小次郎役をやられた初演

を観ました。蜷川さんのシェイクスピア作品はよく観させていただくんですが、それとはまた全く違う雰囲気、宮本武蔵でこんなに笑えるところがあるんだ?! って驚きましたね。武蔵も小次郎もカッコ悪くてダメな部分もけっこうあって、結末にも意表を突かれました。井上ひさしさんの作品だからということもあるんですけど。でも個人的には単純に、竜也さんと小栗さんがカッコいいな～！と思って観てました。お2人もハマリ役でしたし、並んで立つだけで鳥肌が立ったというか。僕らの世代にとっては憧れのお2人なので。

——その小次郎役として今度はご自身が藤原武蔵と対決されるわけですが。

そう思うとホントにツライです…（笑）。竜也さんはまず舞台上で観て「すごい！」と思った方。『身毒丸』での、「お母さん、もういちどぼくをにんしんしてください！」

公演概要

### 『ムサシ』ロンドン・NYバージョン

日 時：9月27日（金）～10月20日（日）

9月	27	28	29	30	10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	金	土	日	月		火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
12:30		★	★		12:30					★	★						★	★	★					★	★
13:30				★	13:30	休演	★		★			★			★					休演	★		★		
17:30			★		17:30					★								★						★	
18:30	★				18:30			★						★	★							★			

会場：彩の国さいたま芸術劇場 大ホール  
 作：井上ひさし（吉川英治「宮本武蔵」より）  
 演出：蜷川幸雄  
 音楽：宮川彬良  
 出演：藤原竜也、溝端淳平、鈴木 杏、六平直政、吉田鋼太郎、白石加代子、大石継太、塚本幸男、飯田邦博、堀 文明、井面猛志

チケット（税込）好評発売中

一般・メンバーズ：S席10,500円／A席8,500円

※本公演はメンバーズ料金および学生席の設定はございません。



『ムサシ』ロンドン・NYバージョン  
 (2010年)  
 Photo ©渡部孝弘



公式 Twitter 「@musashi\_kenzan」

という竜也さんの台詞を真似していたくらい、僕にとってはアイドルなんです。独自の演技スタイルを持っている方ですし、舞台の竜也さんのすごさを知ってますから、“ライバル”と思うにも圧倒されますね。でも良い面を考えると、竜也さんの芝居を一番近くで見られるチャンスですから。（山本）裕典君に、「急に結果を出そうと思ってもできるわけではないし、竜也さんや蜷川さんとやれること自体に意味があるんだから」と言われて、その通りだなと。竜也さんだけでなく、凄い方たちと一緒できるのは本当に贅沢なことだと思います。

緊張感が醍醐味

——デビューから7年、俳優として欲が出てきたところがありますか。

芝居に対する自信のなさというコンプレックスはいまだにあります。ただ、この間永井愛さんの舞台（『こんばんは、父さん』）をやらせていただいた時も、平幹二郎さん、佐々木蔵之介さんに囲まれて「どうしよう」と思った反面、「いや、これはむしろチャンスじゃないか」と。レベルの高い方たちと一緒にすることは精神的にキツいかもしれないけれど、長い目で考えたら何ひとつマイナスにはならないですね。難しい役や苦勞のしがいがありそうな作品が来ると、「うわあ」と思い

つつも、「これで成長できる」という欲は持つようになりました。そういう風に考えられるようになったのは最近かもしれないですね。

——舞台の面白さ、手強さも感じますか。

いくら自分では感情を込めているつもりでもテクニックがなければお客さんには伝わらないし、舞台は手強さを感じるもののほうが多いです。でも同じ台詞を何十回、何百回と繰り返し言うことで見えてくるものがありますし、「ちょっと喉を痛めた」なんて甘えや妥協は一切許されません。生である演劇の怖さが、面白さでもあります。映像ではなかなか実感できない緊張感にゾクゾクするところがありますね。

——では改めて、小次郎役への思いを。

小栗さんは世間一般の人が思い描く“容姿端麗でスマートな小次郎”でしたし、映像で拝見した再演での勝地涼さんは、武蔵への復讐に執念を燃やす小次郎という感じでした。経験値も技量も及ばない自分が前任者の方たちとは違うオリジナリティを出せるのか全くわかりませんが、とにかく新鮮に臨めることだけは確かなので、蜷川さんやお客さんに「この小次郎もありかな」と思ってもらえるように、小次郎のイメージをいい意味で変えるくらいの気持ちで頑張りたいです。……と、すごく大きなことを言っていました（笑）。



# 親子で楽しむスペシャル・ステージ!

夏休みから秋のはじめにかけて、今年も親子で楽しめる企画がもりだくさん。観て、聴いて、時には参加して、子どもも大人も忘れられないひとときを!

「光の庭プロムナード・コンサート」は、土曜の昼下がり、自然光の降り注ぐ情報プラザで、ポジティブ・オルガン(小型のパイプオルガン)の音色を楽しむ40分間のコンサート。「夏休みスペシャル!」では、より一層親子で楽しめるように、一緒に演奏したり、空間を大胆に使ってダンスや演劇などとコラボレーションしたりしてきた。毎回、多くの家族連れで賑わい、「いつもコンサート嫌いの小学生の息子もとても楽しくノリノリでした」(アンケートより)と大好評。

今年は、バッハ・コレギウム・ジャパン公演やプロムナード・コンサートでもおなじみのオルガニストの広沢麻美と、彩の国さいたま芸術劇場の毎年恒例のダンス公演でパワーとユーモアあふれる舞台を繰り広げる、男性学ランダンスカンパニー・コンドルズ主宰近藤良平の共演が決定! 過去に、ピアノ教則本として知られるブルグミュラーの練習曲集を、広

## 光の庭プロムナード・コンサート 夏休みスペシャル! 「私は彼が来るのを見る、僕は彼女が奏でるのを待つ」 広沢麻美(オルガン)×近藤良平(ダンス)

(8/3 彩の国さいたま芸術劇場 情報プラザ ※入場無料/公演詳細はP.24)



Photo ©宮川舞子



Photo ©加藤英弘

沢の演奏で近藤がダンス化し、遊び心たっぷりの舞台をつくったことのある2人。今度のコンサートについては、今はアイデアを練っているところというが、子どもも大人も楽しめるものになることは間違いなし。お友だちを誘って皆で光の庭へ行こう!



Photo ©加藤英弘



## 埼玉会館&熊谷会館ファミリー・クラシック

### 『夏休みオーケストラランド!』

(8/24 埼玉会館 大ホール、8/25 熊谷会館 ホール/公演詳細はP.26)

2006年にスタートし、毎夏恒例となった『夏休みオーケストラランド!』が、今年は埼玉会館と熊谷会館の2会場にやって来る! 飯森範親指揮の東京交響楽団と、朝岡聡のナビゲートでお贈りする、オーケストラの魅力がたっぷりつまんだコンサートは、「はじめてのオーケストラで、すごいはくりょくだった」「聴くだけでなく、会話や説明があり小さな子どもでも分かりやすく親子で楽しめました」「多種類の楽器の音のすばらしさ、強弱、深い音色、心にひびきました」(アンケートよ

り)と親子で楽しめるのが魅力。

参加・体験コーナーも毎回好評で、「指揮者にチャレンジ!」コーナーではビゼーの《カルメン》前奏曲に挑戦! 「みんなで歌おう&演奏しよう!」では、ディズニー音楽でおなじみの《小さな世界》を自宅から持参した楽器や歌でオーケストラと共演できる。子どもたちと同年代のフルーティスト、中学3年生の清水伶りょうによるフルート協奏曲も聴き逃さない。オーケストラを間近に見て聴いて、生ならでのサウンドを体感しよう!



## 宮本亜門 インタビュー

### 「大騒ぎしたっていいんです!」

KAAT 神奈川芸術劇場の芸術監督で演出を手がける宮本亜門が熱く語る!

親子のためのファミリー・ミュージカル

## ピノキオ または白雪姫の悲劇

(9/21・9/22 彩の国さいたま芸術劇場 小ホール/公演詳細はP.26)

—「子どもが楽しめる作品」にもいろいろなタイプがありますね。

まず声を大にして言いたいのは、この『ピノキオ』は劇場できちんとお行儀よく観なきゃいけない“教育的な”子どもミュージカルではありません。舞台中に泣いても、叫んでも、大騒ぎしても大歓迎。それに劇途中で登場人物がみなさんに直接「どう思う?」「どうしたらいい?」って語りかけるし、観にきてくれた子どもたちや、子どもの心を持った大人たちと一緒に作り上げていく舞台なんです。

—劇場の中にテントが出現するとか。

アングラのテント芝居のように、ドキドキするような演劇体験を子どもの頃から感じてもらえたらと思っています。今回は野外でやるわけではないけれど、移動型テント劇場という形で、「どこにでも行ける演劇」にしています。テントは白雪姫のスカートになっていて、みなさんがスカートの中に入っていくとお芝居が始まり、そこは楽しくて自由で、特別な空間。有名な童話の色々な主人公たちも出てきて人間の裏も表も見られるんですよ。

—主人公はおなじみピノキオです。

ピノキオはいたずらっ子。以前、テレビ番組で小学校を訪ねたことがあります。先生からすると「困った子」でも、僕



にはかえってそんな子のほうが、正直で魅力的で想像力がありました。今の時代、「空気を読む」なんてイヤな言葉もあるように、多くの子どもが、親や先生の期待や思惑から身を守る方法論を身につけてしまっている。また大人もすぐに答えを求めたがる風潮がある気がします。人間なんてそんなに簡単なものじゃないし、もっと深く面白いものなのに。ピノキオや白雪姫、いろんなキャラクターが登場して、人間のおかしさ、面白さを体感してもらえたらと思っています。

—子どもの反応は正直です。作り手の本気度や柔軟性も試されますね。

僕は大学時代に演劇専攻で、子どもたちが参加する劇を何回も演出させてもらいました。一番驚いたのが、子どもたちの想像力の無限の豊かさです。大人はアンテナが枯れがちだけど。例えば劇中で「そのワラ持ってくれる?」と役者が言

うと、子どもたちは実際には何も無いのに、まるで本当にワラを持っているような持ち方や歩き方になって。スタニスラフスキー・システム<sup>\*1</sup>とかドラマツルギー<sup>\*2</sup>なんて関係ない(笑)。子どもたちのピュアな想像力に驚かされて、「演劇って何だろう?」と大いに学ばされました。今回も役者と子どもたちがいろんなボールをパスし続けて、自由に交流していける面白い空間にしたい。互いに良い化学反応を起こせたら嬉しいです。

—子どもたちの反応によって物語の展開が変わっていく可能性も?

それも大歓迎です。俳優には演劇教師から学んだ以上の、最高の体験になるでしょう。手作り感にあふれた、子どもたちと共に、生活に身近にある演劇の可能性を広げていけたらと思っています。

\*1…リアリズム演劇の方法論  
\*2…作劇法、演劇理論

# 関かおりの香り

## 五感を覚ます姿態が、ダンスの可能性の扉をまたひとつ開けるかもしれない

国内外のダンス界の先端で活躍する若手振付家たちに焦点をあてた〈dancetoday〉シリーズ。第3弾となる10月の公演は、2組の新作ダブルビル。今号では関かおりを取り上げる。これまで身体表現を幅広く論じダンスを盛り上げてこられた舞踊評論家の石井達朗さんに紹介いただいた。

取材・文◎石井達朗（舞踊評論家） Photo◎青柳 聡



どんなに素晴らしい踊り手であっても、それだけではコンテンポラリー・ダンスの世界では評価されない。既成のテクニックにもジャンルにも囚われることなく、どのダンサーにも追従することなく、創意のあるオリジナルな時空を切り開くことが、コンテンポラリー・ダンサーの条件である。たった2メートル足らずの身体という器にできることなど高が知れているという凡百の思惑をいつも裏切る。そして、この小さな器こそが無限の創意と想像力をかきたてる源泉であることを、ダンサー自身が体を張って探求し、主張し、観客と共有すること。

現代、アジアや西欧ばかりでなく、北東・東欧や南米にまで興隆しているコンテンポラリー・ダンスには、そんなフロンティアの精神が浸透している。文学や演劇とちがいで、言葉を介さないからこそ、地域や言語を超えて、新鮮な創造性に即座に反応できる共通の地盤があるのだ。

### 関かおりが向かうところ

昨年、そんな創造性を振付・ダンス双方において感じさせてくれたのが、関かおりである。2月には、横浜ダンスコレクションEX2012で岩淵貞太との共作『Hetero』が「若手振付家のための在日フランス大使館賞」を受賞。7月には、一年おきに開催されるトヨタコレオグラフィアワード2012で、『マアメント』がグランプリに相当する「次代を担う振付家賞」を獲得した。両作品ともダンサーたちは体の線が浮かび上がる、肌着のようなボディタイツを着用し、超スローモーションに微妙な速度の変化をつけながら、ほぼ全篇音なしで動

く。余分なものがそぎ落とされ、ムーブメントと姿態が織り成す世界は、言語以前の、そして言語を超えた表象の極致とでも形容したくなるものだ。

多くのダンサーたちが付加することによって表現しようとするなかで、動きの引き算を様式美にまで高めた舞台は異色である。シンプルであるからこそ、逆に捉えきれないほどの表情が、ダンサーの肌から水紋を描くように観客に伝わり続ける。このような動きの構成はどこから湧き出てくるのだろうか。関はもともとクラシック・バレエをやっている、それからモダンダンス、コンテンポラリー・ダンスに移行していったと言う。とくに関の口から名前があがった大橋可也や山田うんなどの作品で活動したことは、舞踊家関かおりの今の在り方にポジティブな影響を残しているようだ。

関はダンサーとしての意識と技術をより深いレベルでリンクさせるべく、内外で地に足がついた経験を積み重ねてきたように思える。イスラエルのテル・アヴィヴでGAGAの集中ワークショップに参加した経験があると聞いたときは驚いた。GAGAは、バットシェバ舞踊団を内実ともに世界のトップの舞踊団に成長させたオハッド・ナハリが、もっとも重要な身体のための訓練として行うメソッドである。GAGAでは体の隅々にまで意識をゆきわたらせ、誰の真似でもなく自分自身の内側から生まれる動きの自発性をなによりも大切にしている。

『Hetero』はデュオ作品であったが、『マアメント』は初演時は7名、トヨタコレオグラフィアワードでは4名のグループ作

品であった。そして〈dancetoday 2013〉での新作は、数名の群舞による作品になる予定である。ということは、『マアメント』で試みられたことのさらなる発展形が観られるのではないかと、大いに気持ちがそそられる。関は言う。「新作ではやはり五感



「マアメント」Photo◎松本和幸

がテーマになります。舞台作品ということになるけれども、それ以外の感覚も使って観てほしい。視覚ばかりでなく触覚や嗅覚までも働かせるようなものにしたい」

### 新作では岩淵貞太が参加

新作のもう一つの注目——それは関と並んで今もっとも期待される岩淵貞太がダンサーの一人として参加することだ。空気感を感じさせる関に対し、岩淵は求心力のある肉体派。この違いが魅力的なパートナーシップを醸してきたし、新作ではさらに共同作業が熟成されるはずである。

『マアメント』では、繊細な感覚的な要素に加えて、ダンサーそれぞれのポジショニングや体が微妙にかしぐなどの姿態が、関

らしい入念さで構築されているような印象を受けた。その辺のところを彼女に聞いてみた。「ダンサーが立ったときにどう見えるかということは、いつもかなり意識しています。体のどの部分を意識して立つと、観客によりクリアに見えるのかということ。舞台の空間というよりも、ダンサー同士の空間を意識しながらつくり出す。だから、立っているときに匂い立つものがあるダンサーというのが、ダンサーを選ぶときの大切な要素です」

匂い立つもの……。関の作品では男女のダンサーがそれぞれエロスの香りを漂わせている。それが性差よりも個性差からにじみ出ているのが魅力だ。生命という灯火を個体のなかに確認し、いつくしむような動と静の陰影が織りなす舞台は、不可思議な感覚の世界に導いてくれる。それはデジタルな生活に浸りきっているわれわれの五感を目覚めさせてくれる。同時に、コンテンポラリー・ダンスという可能性の扉を、またひとつ開けてくれるような気がするのだ。

### 関かおり（せき・かおり）

埼玉県川越市出身。5歳よりクラシック・バレエを学ぶ。18歳よりモダンダンス、コンテンポラリー・ダンスを始めると同時に創作活動を開始、2003年より発表を始める。08年ソロ作品『ゆきちゃん』でSTスポット「ラポアワード」を受賞。12年には、岩淵貞太との『Hetero』により横浜ダンスコレクションEX2012「若手振付家のための在日フランス大使館賞」、また『マアメント』でトヨタコレオグラフィアワード2012「次代を担う振付家賞」をダブル受賞。13年、長塚圭史作・演出『あかいくらやみ』公演に振付で参加、好評を得る。独特の舞踊言語と繊細な感性とをもちあわせた注目の振付家。

### 公演概要

#### dancetoday2013 ダブルビル 『関かおり 新作』『島地保武+酒井はな〈アルトノイ〉新作』

日	時：10月18日(金) 開演19:30、19日(土) 開演15:00、20日(日) 開演15:00	チケット(税込) 好評発売中
会	場：彩の国さいたま芸術劇場 小ホール	一 般：4,000円(学生2,000円)
演	目：『関かおり 新作』 振付・演出／関かおり 出演／荒 悠平、岩淵貞太、後藤ゆう、菅 彩夏、関かおり 『島地保武+酒井はな〈アルトノイ〉新作』 演出／島地保武 振付・出演／島地保武、酒井はな	メンバーズ：3,600円

「ヘヴェルルド」 Photo◎松本和幸



文◎飯尾洋一（音楽ライター）

この秋も埼玉会館にNHK交響楽団がやってくる。今回の公演の魅力を一言でいえば、オーケストラを聴く醍醐味を味わえる公演とでも言おうか。多彩な音色と、壮大な響き、そして繊細でニュアンスに富んだ弱音。オーケストラならではのダイナミズムを体感できるだろう。

### 久々の秋山& N響コンビ

今回、N響を指揮するのは重鎮、秋山和慶。来年デビュー50周年を迎えるという大ベテランだ。現在、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団音楽監督・常任指揮者、九州交響楽団首席指揮者・ミュージックアドバイザー他のポストに就き、かつてはアメリカ交響楽団音楽監督、バンクーバー交響楽団音楽監督、シラキュース交響楽団音楽監督、札幌交響楽団首席指揮者等を歴任している。

これだけのキャリアを誇る秋山和慶だけに、もちろんN響との関係も長い。1970年代前半より、たびたびN響の指揮台に登場している。

ただし、近年は秋山和慶といえどもっぱら東京交響楽団の指揮者として聴く機会が多く、N響との共演は久しぶりとなる。2009年の「中村紘子デビュー50周年ピアノ協奏曲の夕べ」以来だろうか。日本を代表する指揮者と日本を代表するオーケストラの顔合わせが埼玉会館で実現するのは喜ばしい限りである。

また、N響もここ数年でメンバーの顔ぶれが少しずつ変わってきている。若く優秀なプレーヤーが加わり、着実に新陳代謝が進んでいる。その意味では、今回の秋山和慶& N響は古くて新しいコンビといつていいかもしれない。

秋山和慶はオーケストラのポテンシャルを最大限に引き出してくれる指揮者で

ある。客席から後ろ姿に見惚れてしまうほどの整ったバトンテクニックを持ち、どんなに複雑な管弦楽曲でも明快に美しくオーケストラを響かせる。作品本来のあるがままの姿を浮き彫りにするアプローチによって、絢爛たる音のドラマを紡ぎ出してくれるにちがいない。

### 今回の演奏曲目は

さて、プログラムであるが、モーツァルトのピアノ協奏曲第20番ニ短調とベルリオースの《幻想交響曲》という、ともにドラマティックな曲目が並んだ。

モーツァルトのピアノ協奏曲第20番は、この作曲家の協奏曲では数少ない短調で書かれた作品。ベートーヴェンが愛好したというもうなずける、とりつかれたかのような激しい情熱と、ほの暗いロマンティズムは、モーツァルト全作品中

でもまれなほど深い感銘を残す。

ピアノ独奏を務めるのは伊藤恵。こちらも日本を代表する名手だ。桐朋学園高校を卒業後、ザルツブルグ・モーツァルトウム音楽大学、ハノーファー音楽大学に学び、1983年ミュンヘン国際コンクールのピアノ部門で日本人として初めて優勝し、以来着実に名ピアニストとしての声望を高めている。シューマンをはじめ、ドイツ＝オーストリア系のレパートリーにはとりわけ定評があり、モーツァルトもたびたび取りあげる作曲家のひとり。大指揮者ジャン・フルネが2005年に日本で東京都交響楽団と引退コンサートを開いた際には、モーツァルトのピアノ協奏曲を共演してマエストロからの信望にこたえ、名匠の最後の公演に花を添えた。また、秋山和慶とはこれまでに数多くの共演を重ねており、強い信頼関係で結ばれている。息の合った、円熟味あふれる

モーツァルトを期待できる。

ベルリオースの《幻想交響曲》は華麗な管弦楽法と、その語り口の雄弁さが魅力の作品だ。副題は「ある芸術家の生涯におけるエピソード」。女優ハリエット・スミッソンに対するベルリオースの熱烈な恋愛感情から生み出された作品で、男の妄執が大爆発して芸術まで昇華されたという型破りな傑作だ。

ベルリオースはパリでイギリスの劇団が上演する『ハムレット』を見て、このシェイクスピア作品とオフィリア役のスミッソンに衝撃を受けた。当時英語がほとんどわからなかったにもかかわらず、感受性が極端に豊かだったベルリオースは作品世界の豊饒さと崇高さを感じとった。そしてスミッソンを理想の女性として心に刻んで、2年間にわたって休むことなく彼女を追い続けた。報われない恋が苦しみへと転化したとき、彼の想いは異

形の交響曲《幻想交響曲》となって噴出した。

《幻想交響曲》には作曲家自身による解説が残されている。若い芸術家が恋に絶望して、アヘン自殺を図る。しかし致死量に至らず、奇怪な夢を見る。恋人は一つのメロディとなって何度もあられ、胸を締めつける。しかし、やがて芸術家は夢のなかで彼女を殺してしまい、死刑を宣告される。断頭台へ上り、恋人の姿が一瞬あらわれたところで、ギロチンの歯が下りる。魔女や亡霊たちが自分の葬儀に集まってグロテスクな饗宴を繰り広げる。恋人は醜く姿を変えてあらわれて、饗宴に加わり、狂乱のクライマックスを迎える……。

モテない男の負のエネルギーがここまで創造的に昇華された例があるだろうか。そしてこのエピソードの真に恐るべきところは、作曲から数年後、ベルリオースはスミッソンとの結婚にまでたどり着いたという事実だ。なんとという執念！

作曲者の激しい情熱を反映してか、《幻想交響曲》には通常のフルサイズのオーケストラに加えて、鐘の音やシンバル、大太鼓、小太鼓が用いられ、ティンパニが4台も必要になるなど、大変にぎやかな編成になっている。秋山和慶& N響のコンビは、この起伏に富んだ作品の魅力をあますところなく伝えてくれることだろう。



# 音楽の秋にふさわしく 名手が揃った演奏会

## NHK交響楽団 秋山和慶(指揮) 伊藤恵(ピアノ)

Photo◎加藤英弘



秋山和慶◎あきやま・かずよし(指揮)

1941年生まれ。現在、東京交響楽団桂冠指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団音楽監督・常任指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団アーティスティック・ディレクター、プリンシパル・コンダクター。サントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞など多数受賞したほか、2001年に紫綬褒章、2011年には旭日小綬章を受章。



伊藤恵◎いとう・けい(ピアノ)

1983年ミュンヘン国際コンクール優勝。強靱なテクニックと構成力は正統派ピアニストとして国際的に高く評価され、国内外の多くの定期公演に招かれる。20年にわたりシューマンのピアノ作品集全曲をシリーズで録音(フォンテック)。日本シヨバン協会賞、横浜市文化賞奨励賞受賞。東京藝術大学教授、桐朋学園大学特任教授。

### 公演概要

#### NHK交響楽団 秋山和慶(指揮) 伊藤恵(ピアノ)

日 時：10月5日(土) 開演16:00 (15:20～指揮者によるプレコンサート・トーク)  
会 場：埼玉会館 大ホール  
曲 目：モーツァルト/ピアノ協奏曲第20番 ニ短調 KV466  
ベルリオース/幻想交響曲

チケット(税込) 好評発売中  
一 般：S席6,500円/A席5,500円/B席4,500円(学生2,000円)  
メンバーズ：S席6,000円/A席5,000円/B席4,000円

### N響 in ザルツブルク

今年の夏、8年ぶりにヨーロッパツアーを行うNHK交響楽団。指揮者は名誉音楽監督のシャルル・デュトワでドイツ、イタリア等、4都市4公演が予定されている。中でも話題となっているのがザルツブルク音楽祭に初出演することだ。モーツァルトの生誕地で行われるこの音楽祭は、一時期カラヤンが芸術監督を務めていたこともあり、あまたある夏の音楽祭の中でも群を抜いてゴージャスで、演目や出演者に注目が集まる。今回、日本の常設オーケストラとしては初めて招聘を受けたN響が演奏するのは、武満徹の《ノヴェンバー・ステップス》とザルツブルク音楽祭委嘱作品で、世界初演となる細川俊夫の《ソプラノとオーケストラのための「嘆き」》、そしてベルリオースの《幻想交響曲》。指揮者は違えども、ザルツブルクで夏に演奏した《幻想交響曲》を、なんと10月に埼玉会館で聴ける、ということになるわけだ。



着飾った人たちにぎわう、音楽祭大劇場のあるホーフシュタール通り

Photo◎SFKolarik

長い約束を果たすかのように、ついに初登場

マレイ・ペライア  
ピアノ・リサイタル進むべき道へ静かに導いてくれるような真摯なペライアの演奏。  
心洗われ勇気づけられる幸せな時間を、ぜひ体験してほしい。

## Murray Perahia



Photo © Nana Watanabe

## 誰にも奪うことができないもの

文◎青澤隆明（音楽評論）

待ち侘びた再会だった。マレイ・ペライアの久々のリサイタルのことで、それは2011年8月、日本ではじつに8年半ぶりの演奏会となった。このときは、11月3日の名古屋、5日の東京での2度の公演だけ。バッハ、ベートーヴェン、ブラームス、後半にはシューマン、ショパンを並べたプログラムは、近年の"ザ・ベスト・オヴ・ペライア"というべき多彩な内容で、とくにドイツ音楽に深い親近性を示すペライアの真価が十分に発揮された。2つのリサイタルを比べるなら、空間の大きさの違いもあって、三井住友海上しらかわホールではよりリラックスしたなかに親密さが溢れ、サントリーホールではさらに雄弁なヴィルトゥオージティが明確に表に出て、剛直に演奏活動復帰後の強靱さを印象づけるようだった。

それ以前の記憶を辿ると、2002年5月の来日で、ベートーヴェン、シューベルト、ショパン作品でのリサイタルのほか、2000年から首席客演指揮者を務めるアカデミー・オヴ・セント・マーティン・イン・ザ・フィールズとモーツァルトの二短調KV 466とバッハの第1番を弾き振りし、交響曲ハ長調KV 551を指揮していた。2011年の秋に次の機会が実現するまでに、たしか2度ほど予定された来日が中止になったはずだが、そのなかにはこの彩の国さいたま芸術劇場音楽ホールでのコ

ンサートも含まれていて、2004年10月15日、2008年11月16日のリサイタルが延期された約束のように残された。

## 長いときを越えて

そして、願いは秋によく叶えられることになる。三度目の正直、という言葉があるが、しかしマレイ・ペライアはいつだって正直そのものだった。誠実さが人間の最大の美德であるのだとしたら、ペライアのピアノは作品への謙虚な取り組みを通じて、いつもそのことを私たちに示してきたのではないか。心からの純粹な歌と真摯な語りかけは、ハーモニーや対位法と同じく、この謙虚なピアニストが生きるための必須条件なのである。

私たちは待つだけだったが、ピアニストとはいえば、右手の故障に悩むようになった1990年代の初めから、もう20年近くも困難と折り合いをつけながら、自らの音楽をひたすら真率に深めてきたことになる。演奏活動に復帰しても、完治のうでの自由が回復されたわけではない。時期が続いた。2000年代半ばに再びの中断をはさむこともあったし、右手をかばうようにみえるときや、瑞々しく清明な音の輝きがいくらか騒るようなことがあっても、ペライアは自分の信じる音楽によって力強く生き抜いてきた。なにか

あっても、そうすることしかできないからだ。そうして、日本への訪問こそしばらく間があいたが、ディスクのリリースには精力的で、シュベルトの最期の3つのソナタ、バッハの協奏曲やバルティータ、ベートーヴェンのソナタ、そして最新録音にあたる2010年6月のブラームス作品集にいたるまで、ペライアは確かな構築に着実な進境と成熟を示してきた。

もっとも、手の故障に傷つくのは、ペライアが活動初期から敬愛してきたシューマンに遡るまでもなく、多忙な活動を展開するコンサート・ピアニストには応分のリスクである。しかし、ペライアが苦悶しながらも理想とする音楽を諦めずに歩み、ホルショフスキ、ルドルフ・ゼルキン、ショルティ、晩年のホロヴィッツなど親交した巨匠たちの年代へと自ら近づいていく姿は、聴き手にも不安や悲痛と歓喜の両方の感情をとときどきに覚えさせるものだった。傷つきやすい心をもつとみえるペライアが謙虚にできることを積み重ねてきた歩みには、大きな畏敬の念を抱かずにはいられないし、彼の誠心への信頼が揺らぐことは決してなかった。

## ペライアの深奥を伝えるプログラム

この秋のリサイタルが音楽ホールで開催されるのは文字通りありがたいことで、先に述べたように、大ホールでの勇敢さとはまた異なる表情が近く感じられるといいと思う。とはいっても、プログラムには、ベートーヴェン渾身の短調ソナタ(「熱情」)も含まれるから、もちろん実直でやさしいだけではいけない。ペー

## 公演概要

## マレイ・ペライア ピアノ・リサイタル

日時：10月19日(土) 開演15:00  
会場：彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール  
曲目：バッハ／フランス組曲第4番 変ホ長調 BWV 815  
ベートーヴェン／ピアノ・ソナタ第23番 短調「熱情」  
シューマン／ウィーンの謝肉祭の道化  
ショパン／スケルツォ 第2番 変ロ短調 ほか

チケット(税込) 好評発売中  
一般：正面席10,000円  
メンバーズ：正面席9,000円  
※バルコニー席・学生席は予定枚数終了



Photo © Felix Broede

こそ、音楽を通じて、いまでも信頼に値するなにかを、私たちはこうして聴きとり、大きくみつめることができる。マレイ・ペライアのピアノが語りかけること

のなかには、人間への深い信頼と満ち足りた美の世界への強く激しい憧れがある。それは私たちが現在、なにかあっても手離してはいけないものだ。

Photo © Felix Broede

マレイ・ペライア (ピアノ)  
Murray Perahia

ニューヨーク生まれのペライアは4歳でピアノを始め、後にマンハッタン音楽学校で指揮と作曲を専攻した。コンサート・ステージで40年以上ものキャリアを積み重ねてきたペライアは、現在最も多くの出演依頼を受け、最も聴衆から愛されるピアニストの一人となった。あらゆる一流オーケストラと共演し、世界の主要な音楽シーンにその姿があるとって過言ではない。

Katsumi Takahashi

俳優 高橋克実

9月には『ヴェニスの商人』で彩の国シェイクスピア・シリーズに初登場する高橋克実。俳優としてドラマや舞台で活躍するだけでなく、バラエティ番組でもおなじみの顔だ。そこはかとなくにじみ出る「笑い」のエキスを、幼い頃から身につけたもののように。

取材・文◎市川安紀



「芝居の中でも“笑い”を追求しています」

子どもの頃から人前で何かやるのは嫌じゃなくて、率先して「笑かす」ことはしてましたね。『太陽にほえろ』のコントを自分で作ったり。七曲署の新人デカになったら、友達同士で自分を呼んでほしい愛称を決めたりして。僕は天然パーマだったから「天パ」。まあ、今の僕からは想像できないでしょうけど。正月に親戚が集まると、(柳家)金語楼のモノマネをしました。古いですねえ、今の人、知らないですよね？でも似てたんですよ。短い落語も覚えまして。親もやらせるのが好きだったみたいで。人に褒められるというか、みんなが喜んで、ウケたりするのが好きでしたね。

新潟から上京して大学受験もうまく行かず、バイトしながら映画のオーディションを受けたりと、ぶらぶらしてました。そのうちオーディション先で知り合った仲間とモノマネやコントをやるようになって。劇団「離風霊船(りぶれせん)」に入ったのは26歳の時。劇団でもほぼお笑い担当で、初めて主役をやった『マインド』も、笑いの要素満載でした。ある日父親が4人に分裂



あの頃はみんながやっていた「シェー」

笑いとは芝居

今ではネタのように「松田優作さんに憧れて俳優を目指した」とよく言われていますけど、僕たちの世代はみんな優作さんが好きだったんですよ。優作さんのマネをしない中学生の男子はいなかったんじゃないですか。だから本気で優作さんになりたかったわけではなく、元々は人を楽しませることがやりたいくてこの世界に入ったんです。

して次々に帰ってくるというシュールな話で、僕は「大人になってから芽生えた自中心」の役。4人それぞれが目立ちたいあまりに飛び蹴りしたりと、やりたい放題でしたね。今年久々に再演された舞台を当時の仲間と観に行ったら、笑いの要素はみごとになくなりましたけど(笑)。

劇団には10年ちょっといて、30代後半になってから、ポツポツとドラマやバラエティにも出させてもらうようになりました。でもこの仕事を始めてみると、「笑い」に関しては自分なんてとてもじゃないけど芸人さんたちの足元にも及ばないというこ

とがわかるわけです。本職の人が一杯いる世界なので。だから自分は芝居の中でどう「笑い」を反映できるかということもいつも考えてます。ドラマ『ショムニ』でもそうでした。現場で自由にやらせてもらい、面白ければ採用されるという感じでしたね。

夢は新喜劇で……

「笑い」はあまり時代に左右されませんよ。吉本新喜劇なんて、大阪ではいまだに満員で入れないこともありますよ。嫁さんの実家が近いので、休暇にぶらっと観に行くのが楽しみなんです。

実は自分の夢のひとつが、吉本新喜劇で「客席に背中を向けてギャグにコケる人」をやること。定食屋で椅子からずり落ちて、何事もなかったかのように椅子を直して、また食べ出すとか(笑)。ホントにどうでもいい話なんですけど、新喜劇って「日本の王道」という気がするんです。

今度は初めてシェイクスピアをやりますが、シェイクスピアにも笑いの要素はけっこうありますよね。『ヴェニスの商人』でもヒゲをつけた女の人に気づかないなんて、明らかにコントですよ。隙あらばそんな笑いの部分も追求していきたいとは思いますが、とても余裕はないだろうなあ(笑)。

たかはし・かつみ 1961年新潟県生まれ。1987年、劇団「離風霊船」入団。98年の退団まで主演俳優として活躍。98年、CXドラマ『ショムニ』で注目を浴び、ドラマ、バラエティ番組等でも活躍する。近年の舞台に、『ピロマン』『夢の裂け目』『大人は、かく戦えり』『シレンとラギ』『叔母との旅』など。ドラマではNHK『フルスイング』『龍馬伝』『梅ちゃん先生』『メイド・イン・ジャパン』、CX『ヒブリア古書堂の事件手帖』、TBS『確証 警視庁捜査3課』など。

★『ヴェニスの商人』特集(P.8~10)もご参照ください。

DANCE 6月15日~16日

マギー・マラン  
『Salves —サルヴズ』

カンパニー・マギー・マランが10年ぶりに来日。近年は「踊らないダンス」と評されながら、ダンサーの肉体でしか語れない身体表現を展開し続ける。創作の根底にあるのは、世界に対する深い洞察と悲惨な状況に生きる人々へのまなざしだ。前半は映画のモンタージュ手法を取り入れ、日常の一コマを切り取ったイメージが暗闇に寸断されながら次々と現れる。後半は一転、明るい照明の中、大きなテーブルの上に用意された豪華な食事や身なりを整えた人々の、外見からは想像できない、秘められた暴力が次第にあらわになる。人間が作り出してきた宗教や思想などが、様々な形で衝突し、繰り返される人類の歴史、そして今。未来の見えない不安を抱え、我々は過去から何を学びどう生きていくのか。マランは大きな問いを投げかけた。

Photo © Arnold Groeschel



DANCE 5月18日~5月19日

コンドルズ 埼玉公演 2013 新作  
『アポロ』

新作への期待に毎年胸躍らせる、恒例のコンドルズ埼玉公演。今年のタイトルは、2013年の「13」にちなみ、アポロ13号から採った『アポロ』。舞台上には天体の軌道を模したラインが敷かれ、球体を使ったダンスや、地球征服を企む異星人を主役としたミュージカル仕立てのコントなど、『アポロ』をキーワードに遊びごころたっぷりの舞台に観客は大いに沸いた。

Photo © HARU



MUSIC 6月4日

埼玉会館ランチタイム・コンサート  
第22回 NHK交響楽団メンバーによる  
金管五重奏

7年目に突入する人気シリーズ。今回も多くの聴衆で埋め尽くされたホールに、華やかなプラス・サウンドが響き渡った。《アランフェス協奏曲》などのクラシック音楽から、耳なじみのよい《大きな古時計》や、『じょんがら節』をモチーフとした《じょんがららっぱ》など多彩なプログラムが並んだ。トランペットの関山幸弘の親しみやすい曲目紹介も好評だった。

Photo © 加藤英弘



MUSIC 5月26日

ピアノ・エトワール・シリーズ  
Vol.22 リーズ・ドゥ・ラ・サール



25歳という若さながら、すでに10年以上にわたって世界を舞台に活躍するリーズ・ドゥ・ラ・サール。前半にラヴェルとドビュッシー、後半はプロコフィエフという、彼女の魅力をあますところなく堪能できるプログラムが組まれた。繊細さと強靭さを鮮やかに操り、指先から繰り出される美しく澄んだ音。知的で深い音楽性に裏打ちされたダイナミックな演奏に耳を奪われた。

Photo © 加藤英弘

PLAY		DANCE		MUSIC		CINEMA	
7	july	開演時間	開演時間	開演時間	開演時間	7	july
15	祝					15	祝
16	火					16	火
17	水	14:00				17	水
18	木					18	木
19	金					19	金
20	土					20	土
21	日					21	日
22	月					22	月
23	火					23	火
24	水	12:00/17:00				24	水
25	木					25	木
26	金					26	金
27	土					27	土
28	日					28	日
29	月					29	月
30	火					30	火
31	水					31	水

PLAY		DANCE		MUSIC		CINEMA	
8	august	開演時間	開演時間	開演時間	開演時間	8	august
1	木					1	木
2	金					2	金
3	土					3	土
4	日					4	日
5	月					5	月
6	火					6	火
7	水					7	水
8	木					8	木
9	金					9	金
10	土					10	土
11	日					11	日
12	月					12	月
13	火					13	火
14	水					14	水
15	木					15	木
16	金					16	金
17	土					17	土
18	日					18	日
19	月					19	月
20	火					20	火
21	水					21	水
22	木					22	木
23	金					23	金
24	土					24	土
25	日					25	日
26	月					26	月
27	火					27	火
28	水					28	水
29	木					29	木
30	金					30	金
31	土					31	土

PLAY		DANCE		MUSIC		CINEMA	
9	september	開演時間	開演時間	開演時間	開演時間	9	september
1	日					1	日
2	月					2	月
3	火					3	火
4	水					4	水
5	木	18:30				5	木
6	金	13:00				6	金
7	土	13:00				7	土
8	日	13:00				8	日
9	月	13:00				9	月
10	火					10	火
11	水	13:00/18:30				11	水
12	木	13:00				12	木
13	金	13:00				13	金
14	土	13:00/18:30				14	土
15	日	13:00				15	日
16	月	13:00				16	月
17	火					17	火
18	水	13:00/18:30				18	水
19	木	13:00				19	木
20	金	13:00				20	金
21	土	13:00/18:30				21	土
22	日	13:00				22	日
23	月					23	月
24	火					24	火
25	水					25	水
26	木					26	木
27	金	18:30				27	金
28	土	12:30				28	土
29	日	12:30/17:30				29	日
30	月	13:30				30	月

### DANCE

#### “ザ・ファクトリー3”

さいたまゴールド・シアター  
× 瀬山亜津咲 (ピナ・パウシュ ヴッパター  
ル舞踏団)  
ワーク・イン・プログレス 公開

チケット発売日 一般：7月28日(日)  
メンバーズ：7月27日(土)

### DANCE

#### マチルド・モニエ

#### 『ピュディック・アシッド』

#### 『エクスタシス』

80年代から現在まで、フランスのダンス・シーンで代表する振付家の一人、マチルド・モニエが今秋初来日！2011年に蘇った若さ溢れるデビュー作を上演。



© Marc Coudrais

### DANCE

#### マチルド・モニエ

チケット発売日 一般：8月31日(土)  
メンバーズ：8月24日(土)

### DANCE

#### マチルド・モニエ

日時：11月9日(土) 開演15:00  
(上演時間約70分/途中休憩含む)  
会場：彩の国さいたま芸術劇場 大ホール  
振付：マチルド・モニエ、  
ジャン＝フランソワ・デュルル  
出演：ソニア・ダルボワ、ジョナタン・ブランラ  
チケット(税込)  
一般：S席3,500円/A席2,500円(学生2,000円)  
メンバーズ：S席3,200円  
共同主催：アンスティチュ・フランセ日本

### MUSIC

#### パッサ・コレギウム・ジャパン

#### モーツァルト《レクイエム》

毎年恒例のパッサ・コレギウム・ジャパン公演。今年はモーツァルトの最後の作品《レクイエム》。

© Marco Borggreve

チケット発売日 一般：8月3日(土)  
メンバーズ：7月27日(土)

日時：12月7日(土) 開演16:00  
会場：彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール  
出演：鈴木雅明(指揮)、  
キャロリン・サンブソン(ソプラノ)、  
マリアンネ・ペアーテ=キーラント(アルト)、  
アンドリュウ・ケネディ(テノール)、  
クリスティアン・イムラー(バス)

チケット(税込)  
一般：正面席8,000円/バルコニー席7,000円(学生3,000円)  
メンバーズ：正面席7,200円

### MUSIC

#### 埼玉会館ニューイヤー・コンサート2014

#### 新日本フィルハーモニー交響楽団

#### 小泉和裕(指揮) 中島彰子(ソプラノ)

#### 中井美穂(司会)

恒例の埼玉会館ニューイヤー・コンサート。2014年の幕開けは交響曲《新世界から》。

チケット発売日 一般：8月3日(土)  
メンバーズ：7月27日(土)

日時：2014年1月11日(土) 開演15:00  
会場：埼玉会館 大ホール  
曲目：ドヴォルジャーク/  
交響曲第9番《新世界から》ほか

チケット(税込)  
一般：S席5,000円/A席4,000円/B席3,000円(学生1,500円)  
メンバーズ：S席4,500円/A席3,600円/B席2,700円

### MUSIC

#### 埼玉会館ランチタイム・コンサート 第24回

#### きりく・ハンドベルアンサンブル

ハンドベル界のトップ奏者、大坪泰子率いるアンサンブルがランチタイムに登場！クリスマスソングをあたためたかみのあるベルの響きでお楽しみください。



チケット発売日 一般：9月15日(日)  
メンバーズ：9月14日(土)

日時：12月13日(金) 開演12:10(終演予定13:00)  
会場：埼玉会館 大ホール  
出演：きりく・ハンドベルアンサンブル  
曲目：J.S.バッハ/主よ、人の望みの喜びよ  
カッチーニ/アヴェ・マリア  
モンティ/チャールダーシュ ほか

チケット(税込)  
全席指定1,000円

## 彩の国シネマスタジアム LINE UP 2013.8→9

### 8月9日(金)～11日(日)

会場：彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール

#### 『かぞくのくに』

9日(金) 11:00/13:40/16:20/19:00  
10日(土) 10:30/13:10/16:20/19:00  
11日(日) 10:30/13:10/15:50

※9日(金) 11:00上映回は、音声ガイドがつきます。イヤホン付きFMラジオ受信機を使用しますので、お聴きになる方はご持参ください。  
※10日(土) 13:10上映回終了後、ヤン・ヨンヒ監督によるアフタートークがあります。

### 9月6日(金)～8日(日)

会場：彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール

#### 『東京家族』

6日(金) 10:30/14:30/18:30  
7日(土) 10:30/14:00/17:30  
8日(日) 10:30/14:00/17:30

監督：山田洋次  
出演：橋爪 功、吉行和子、西村雅彦、夏川結衣、中嶋朋子、林家正蔵、妻夫木聡、蒼井 優 ほか  
(2012年/日本/146分)

### 8月24日(土)

会場：埼玉会館 小ホール

#### 『希望の国』上映会 +

#### アーサー・ピナード氏講演会

24日(土) [上映] 10:30/17:30  
[講演] 14:00～15:30

※10:30上映回は音声ガイドがつきます。イヤホン付きFMラジオ受信機を使用しますので、お聴きになる方はご持参ください。

### 9月28日(土)～29日(日)

会場：熊谷会館 ホール

#### 優秀映画鑑賞推進事業 溝口健二監督特集

#### A『西鶴一代女』 B『雨月物語』

#### C『山椒大夫』 D『近松物語』

28日(土) 10:30 (A) /14:00 (D) /16:40 (B)  
29日(日) 10:00 (B) /12:50 (C) /15:50 (A)

監督：溝口健二  
出演：『西鶴一代女』 田中絹代、山根寿子、三船敏郎 ほか(1952年/137分)  
『雨月物語』 京マチ子、水戸光子、田中絹代 ほか(1953年/96分)  
『山椒大夫』 田中絹代、花柳喜重、香川京子 ほか(1954年/124分)  
『近松物語』 長谷川一夫、香川京子、南田洋子 ほか(1954年/103分)

※28日(土) 10:30『西鶴一代女』上映回は音声ガイドがつきます。イヤホン付きFMラジオ受信機を使用しますので、お聴きになる方はご持参ください。

PLAY

彩の国さいたま寄席 四季彩亭  
～彩の国落語大賞受賞者の会  
桂 文治

日時：7月21日(日) 開演14:00  
会場：彩の国さいたま芸術劇場 小ホール  
出演：桂 文治(二席)、笑福亭鶴光(ゲスト)、  
三遊亭萬橘、春風亭昇々  
チケット(税込)  
一般3,000円 メンバース2,700円  
ゆうゆう割引(65歳以上・障がい者) 2,000円

詳細は  
⇒ P.8  
~10

彩の国シェイクスピア・シリーズ第28弾  
『ヴェニスの商人』

日時：9月21日(土) 開演15:00、  
22日(日) 開演11:00 / 15:00  
会場：彩の国さいたま芸術劇場 小ホール  
原作：カルロ・コロデー  
作曲・音楽監督：深沢桂子  
演出・脚色：宮本亜門  
共同演出・振付：福島桂子  
出演：小此木麻里、池田有希子、石鍋多加史、治田 敦、  
西原 純、岡田 誠、中野順一郎、齊藤嵩也、平林靖子、  
水谷圭見、春衣  
チケット(税込)  
全席自由 一般：大人3,000円  
子ども(4歳以上中学生以下)1,500円  
メンバーズ：大人2,700円  
※3歳以下の入場はご遠慮ください。  
※【関連企画】「なりきり変身ワークショップ！」参加  
者募集！(※詳細はP.27)

詳細は  
⇒ P.15

親子のためのファミリー・ミュージカル  
『ピノキオ ～または白雪姫の悲劇～』

日時：9月21日(土) 開演15:00、  
22日(日) 開演11:00 / 15:00  
会場：彩の国さいたま芸術劇場 小ホール  
原作：カルロ・コロデー  
作曲・音楽監督：深沢桂子  
演出・脚色：宮本亜門  
共同演出・振付：福島桂子  
出演：小此木麻里、池田有希子、石鍋多加史、治田 敦、  
西原 純、岡田 誠、中野順一郎、齊藤嵩也、平林靖子、  
水谷圭見、春衣  
チケット(税込)  
全席自由 一般：大人3,000円  
子ども(4歳以上中学生以下)1,500円  
メンバーズ：大人2,700円  
※3歳以下の入場はご遠慮ください。  
※【関連企画】「なりきり変身ワークショップ！」参加  
者募集！(※詳細はP.27)

詳細は  
⇒ P.12  
~13

『ムサシ』ロンドン・NYバージョン

彩の国さいたま寄席 四季彩亭  
～若手落語家競演会

日時：10月4日(金) 開演19:00  
会場：彩の国さいたま芸術劇場 小ホール  
出演：柳家三三、隅田川馬右、古今亭文菊、  
桂 宮治、春風亭昇也  
チケット(税込)  
一般3,000円 メンバース2,700円  
ゆうゆう割引(65歳以上・障がい者) 2,000円  
※一般は7月20日(土)より発売

3歳以上のお子さまから  
楽しんでいただける公演です。

DANCE

dancetoday2013 ダブルビル  
「関かおり 新作」  
「島地保武+酒井はな(アルトノイ)新作」

詳細は  
⇒ P.16  
~17

MUSIC

埼玉会館ファミリー・クラシック  
熊谷会館ファミリー・クラシック  
夏休みオーケストラ!

詳細は  
⇒ P.14

日時・会場：  
8月24日(土) 開演14:00 埼玉会館 大ホール  
8月25日(日) 開演15:00 熊谷会館 ホール  
出演：飯森範親(指揮)、朝岡 聡(ナビゲーター)、  
清水 侖(フルート)／第66回全日本学生音楽コ  
ンクール全国大会フルート部門 中学校の部第  
1位)、東京交響楽団(管弦楽)  
曲目：ワーグナー／ワルキューレの騎行  
フリテン／青少年のための管弦楽入門  
～みんなで歌おう&演奏しよう！～  
\*歌や持参楽器でオーケストラと共演！  
チャーマン兄弟／小さな世界  
スメタナ／交響詩《モルダウ》ほか  
チケット(税込)  
一般：大人 S席3,500円 / A席3,000円 子ども(3  
歳以上中学生以下) S席1,500円 / A席1,000円  
メンバーズ：大人 S席3,200円 / A席2,700円  
※3歳未満の入場はご遠慮ください。

埼玉会館ランチタイム・コンサート第23回  
モディリアーニ弦楽四重奏団

日時：9月17日(火) 開演12:10  
会場：埼玉会館 大ホール  
出演：フィリップ・ベルナル、  
ロイック・リユー (ヴァイオリン)、  
ローラン・マルフェンク(ヴィオラ)、  
フランソワ・キエフェル(チェロ)  
曲目：ラヴェル／弦楽四重奏曲 へ長調 ほか  
※前号で発表した曲目から変更いたしました。  
チケット(税込)  
全席指定1,000円

ベルリン・フィルハーモニー  
木管五重奏団

日時：9月28日(土) 開演17:00  
会場：彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール  
出演：ミヒャエル・ハーゼル(フルート)、  
アンドレアス・ヴィットマン(オーボエ)、  
ヴァルター・ザイファルト(クラリネット)、  
ファーガス・マクウィリアム(ホルン)、  
マリオン・ラインハルト(ファゴット)  
曲目：ミヨー／組曲《ルネ王の暖炉》ほか  
チケット(税込)  
一般4,500円(学生2,000円) メンバース4,100円

詳細は  
⇒ P.18  
~19

NHK交響楽団  
秋山和慶(指揮) 伊藤 恵(ピアノ)

マレイ・ペライアピアノ・リサイタル

詳細は  
⇒ P.20  
~21

イザベル・ファウスト  
バッハ無伴奏ヴァイオリン作品全曲演奏会

日時：11月3日(日・祝) 第1部 開演15:30 /  
第2部 開演18:00

※各部休憩なし  
※各部開演いたしますと途中でお入りいただけない場  
合がございますので、予めご了承ください。  
会場：彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール  
曲目：【第1部】 J.S.バッハ/  
ソナタ第1番 ト短調 BWV 1001、  
バルティータ第1番 ロ短調 BWV 1002、  
ソナタ第2番 イ短調 BWV 1003  
【第2部】 J.S.バッハ/  
バルティータ第3番 ハ長調 BWV 1006、  
ソナタ第3番 八長調 BWV 1005、  
バルティータ第2番 二短調 BWV 1004  
チケット(税込)  
【通し券】一般：正面席6,500円  
メンバーズ：正面席6,000円  
【1回券】一般：正面席4,000円  
メンバーズ：正面席3,600円  
※バルコニー席、学生席は予定枚数終了

ヴェルディ生誕200年記念  
ヴェルディ・ガラ・コンサート

日時：11月10日(日) 開演15:00  
会場：彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール  
出演：横山恵子(ソプラノ)、清水華澄(メゾソプラノ)、  
福井 敬(テノール)、福島明也(バリトン)、  
谷池重祐子(ピアノ)  
曲目：《リゴレット》より「女心の歌」、《ドン・カルロ》よ  
り二重唱「我等の魂に友情と希望を」ほか  
チケット(税込)  
一般：正面席4,500円 / バルコニー席3,500円(学生  
1,500円)  
メンバーズ：正面席4,100円

ピアノ・エトワール・シリーズ  
Vol.23 大崎結真

日時：12月1日(日) 開演14:00  
会場：彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール  
曲目：ラヴェル／水の戯れ、夜のガスパール  
デュティユー／ピアノ／ソナタ ほか  
チケット(税込)  
一般：正面席3,500円 / バルコニー席2,500円(学生  
1,000円)  
メンバーズ：正面席3,200円  
※バルコニー席、学生席は残席僅少

ピアノ・エトワール・シリーズ アンコール!  
Vol.1 ラファウ・ブレハッチ

日時：12月17日(火) 開演19:00  
会場：彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール  
曲目：ベートーヴェン／ピアノ・ソナタ第7番 二長調、  
ショパン／スケルツォ第3番 嬰ハ短調 ほか  
チケット(税込)  
一般：正面席5,000円 / バルコニー席4,000円(学生  
2,000円)  
メンバーズ：正面席4,500円  
※バルコニー席、学生席は残席僅少

# THEATER BRIDGE

Information

【参加者募集】 親子のためのファミリー・ミュージカル  
宮本亜門演出『ピノキオ～または白雪姫の悲劇～』関連企画

色々なマスクを作ってみよう!  
「ピノキオ」の美術デザインのアイデアを使った工作教室  
なりきり変身ワークショップ!

宮本亜門版『ピノキオ～または白雪姫の悲劇～』では、きつね、猫、おそろ  
ぎのほか、カニ、カメから魔王まで、さまざまなおとぎ話のキャラクターが  
現れます。俳優たちは、それぞれのキャラクターに合わせて作られたマスク  
や小道具を使いわけて登場人物になりきります。色々な役柄を楽しそうに演  
じ分ける俳優たちはまるで遊んでいるようです。その「遊び」を少し体験して  
みませんか?  
今回は、「ピノキオ」の美術を担当した下田昌克さん、大島広子さんと一緒に、  
身の回りにある材料を使って、色々なマスクを作ります。いつでもどこでも  
簡単にできる「変身遊び」。自分たちのなりたいたいものに变身してみよう!!



下田昌克による「ピノキオ～または白雪姫の悲劇～」  
のためのスケッチ

【日時】 9月16日(月・祝) 11:00 ~ (約2時間)  
【会場】 彩の国さいたま芸術劇場 中稽古場2  
【定員】 20名(参加費無料 / 応募多数の場合は抽選)  
【対象】 4歳以上 ※親子で参加される場合、保護者の方は見学になります。  
【応募方法】 ハガキに以下の事項を記入の上、締切日までに応募ください。  
※参加証の発送をもって、抽選結果の発表にかえさせていただきます。(9月上旬発送予定)  
【記入事項】  
①郵便番号・住所 ②氏名(フリガナ) ③年齢 ④学校名・学年 ⑤電話番号 ⑥希望人数  
(ハガキ1枚につき2名様まで) ⑦保護者の方の氏名・人数(見学を希望される場合のみ)  
※2名様でご応募の場合、同伴者の方の②~④もあわせてご記入ください。  
【応募締切】 8月30日(金) 必着  
【応募・お問合せ先】  
〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰3-15-1  
彩の国さいたま芸術劇場 「ピノキオ」ワークショップ 係  
TEL. 048-858-5500(休館日を除く10:00 ~ 19:00)

## ACCESS MAP アクセスマップ



【チケットの購入方法について】

**インターネット**

「SAF オンラインチケット」で、  
発売初日 10:00 から公演前日  
オンラインチケット  
23:59 まで受付いたします。

トップページの「チケット購入」からお進みください。  
【PC・スマートフォン】 <http://www.saf.or.jp/>  
【携帯】 <http://www.saf.or.jp/mobile/>

**電話予約**

●チケットセンター  
**0570-064-939**  
10:00 ~ 19:00 (彩の国さいたま芸術劇場休館日を除く)  
※一部の携帯電話、PHS、IP 電話からは受付できません。

**クレジットカード決済→コンビニ発券**  
※チケット代のほかに、【チケット一枚につき】システム利用料 135 円、  
店頭発券手数料 105 円が必要です。

**【コンビニ支払い→コンビニ発券】**  
※チケット代のほかに、【お支払い1件につき】振込手数料 210 円  
(代金合計 3 万円以上は 410 円) 【チケット1枚につき】システム  
利用料 135 円、店頭発券手数料 105 円が必要です。

**窓口販売**

下記窓口で直接購入いただけます。  
電話予約したチケットの引取もできます。  
●彩の国さいたま芸術劇場 (10:00 ~ 19:00)  
●埼玉会館 (10:00 ~ 19:00)  
●熊谷会館 (10:00 ~ 17:00) ※休館日をお確かめの上  
ご来場ください。

**クレジットカード決済→宅配便で配送**  
※チケット代のほかに、【配送1件につき】配送料 300 円が必要です。

**【コンビニ支払い→コンビニ発券】**  
※チケット代のほかに、【お支払い1件につき】振込手数料 210 円  
(代金合計 3 万円以上は 410 円) 【チケット1枚につき】システム  
利用料 135 円、店頭発券手数料 105 円が必要です。

**【窓口で支払い・引取り】** ※手数料はかかりません。

**現金もしくはクレジットカード決済、  
その場でチケットをお渡します。**  
※手数料はかかりません。

財団メンバーズのお客様は、いずれの場合も便利な「口座引落」でのお支払い、チケットは無料配送いたします。

## サポーター会員

(公財) 埼玉県芸術文化振興財団は、演劇、ダンス、音楽を中心に、この劇場でしか見られない最高の作品を提供できるように、蜷川幸雄芸術監督のもと、作品づくりに努めています。こうした財団の活動にご理解、ご支援をいただいているのが(公財) 埼玉県芸術文化振興財団サポーター会員の皆様方です。

(株) 与野フードセンター / (株) 亀屋 / 武州ガス(株) / (株) 松本商会 / (有) 香山壽夫建築研究所 / 埼玉新聞社 / テレビ埼玉ミュージック / 埼玉りそな銀行  
(株) パシフィックアートセンター / (株) アサヒコミュニケーションズ / FM NACK5 / 東京ガス(株) / カヤバシステム マシナリー(株) / (株) タムロン / (株) 十万石ふくさや  
森平舞台機構(株) / 東芝エルティエンジニアリング(株) / 埼玉トヨタ自動車(株) / (有) 齋賀設計工務 / 武蔵野銀行 / 浦和ロイヤルパインズホテル / アルピーノ村  
国際照明(株) / 三國コカ・コーラボトリング(株) / 埼玉スバル / 桶本興業(株) / (株) 佐伯紙工所 / (株) 太陽商工 / (株) しまむら / (有) 六辻ゴルフセンター / 不動産(株)  
ビストロ やま / 埼玉縣信用金庫 / (株) 栗原運輸 / 彩の国SPグループ / (有) ブラネッツ / 関東自動車(株) / (株) デサン / セントラル自動車技研(株) / 丸美屋食品工業(株)  
ボラスグループ / ひがし歯科 / 埼玉トヨペット(株) / 公認会計士 宮原敏夫事務所 / (株) 価値総合研究所 / (株) 埼玉交通 / 医療法人 顕正会 蓮田病院 / (株) ウイズネット  
サイデン化学(株) / アイル・コーポレーション(株) / 五光印刷(株) / 旭ビル管理(株) / ヤマハサウンドシステム(株) / (株) エヌテックサービス / (株) クリーン工房 / (株) つばめタクシー  
(株) サンワックス / (株) 総合舞台 / (株) タクトコーポレーション / 広総業(株) / (財) さいたま住宅検査センター / (株) 国大セミナー / (株) NEWSエンターテインメント  
(株) オーガス / イープラス / 六三四堂印刷(株) / 医療法人 櫻会 林整形外科 / 埼玉県整形外科医会 / 医療法人社団 山粋会 山崎整形外科 / サンケイリビング新聞社 / (株) 三和広告社  
(株) セノン / 東京新聞ショッパー / (株) 松尾楽器商会 / (有) 中央舞台サービス / JA埼玉県中央会 / 日本大学芸術学部 / (株) 川口自動車交通 / (株) ホンダカーズ埼玉  
ファミリーマートあすまや / (株) セブンドリーム・ドットコム / (有) 杉田電機 / 丸茂電機(株) / 太平ビルサービス(株) / さいたま支店 / (株) 片岡食品 / (株) 協栄  
(株) ヨコハマタイヤジャパン / NTT東日本 埼玉支店 / チャコット(株) / (株) 平和自動車 / 光陽オリエントジャパン(株)

H25.6.25 現在 / 一部未掲載

【問合せ先】(公財) 埼玉県芸術文化振興財団 営業宣伝課 サポーター会員担当 TEL 048-858-5507



# シェイクスピアに挑戦した 100年前の歌舞伎俳優

『ヴェニスの商人』は日本で初めて上演されたシェイクスピア作品でもある。  
時は明治18(1885)年、大阪戎座。『何桜彼桜銭世中』というタイトルで歌舞伎  
に翻案されたもので、大阪の高利貸しと蘭学者の娘が対決するという筋立てだ。



『ヴェニスの商人』法廷の場  
大正2(1913)年 東京本郷座  
中央左がシャイロック役の  
二世市川左團次  
(早稲田大学演劇博物館蔵)

その後、川上音二郎一座をはじめシェイクスピア劇の翻案  
上演があちこちで見られるようになっていく。

明治41(1908)年には、前年に8カ月に及ぶヨーロッ  
パ演劇視察旅行から帰国した歌舞伎俳優の二世市川左團次  
が、坪内逍遙訳による『ヴェニスの商人』法廷の場を明治座  
で上演する(併演作あり)。もちろん左團次はシャイロック  
役で、女優も出演する本格的な西洋モノだったのだが、あ

えなく失敗。芝居の内容そのものよりも、興行界では当然だった芝居茶屋制度  
を廃止、ご祝儀・心付け(チップ)も断固拒否、客席での飲酒飲食禁止、ひいき筋  
への挨拶回りも取りやめ等々、洋行の成果を生かそうと鼻息荒く意気込む左團  
次の「劇場改革」が、劇場関係者や観客から総スカンを食ってしまったのだ。

そんなわけで第一歩こそ残念な結果となったが、その後も果敢に『ヴェニス  
〜』を上演した左團次は、「シャイロックの演処は、法廷よりむしろ娘の出奔と  
アントニオの破産とを同時に聞いて、悲喜交々至る、あすこだらうと  
思ひます」と語っている(小山内薫著「演劇新潮」明治41年)。

のちに小山内と共に「自由劇場」を創設して西洋演劇に取り組む一方  
で、歌舞伎十八番『鳴神』の復活、岡本綺堂や真山青果の新作上演など、  
歌舞伎にとどまらず日本の演劇界に新風を吹き込んだ二世左團次。  
ジャンルを超えて八面六臂の活躍を続ける当代・市川猿之助が100  
年後にシャイロックに挑むのも、歴史の必然という気がしてくる。

『何桜彼桜銭世中』挿絵  
(国立国会図書館蔵)

